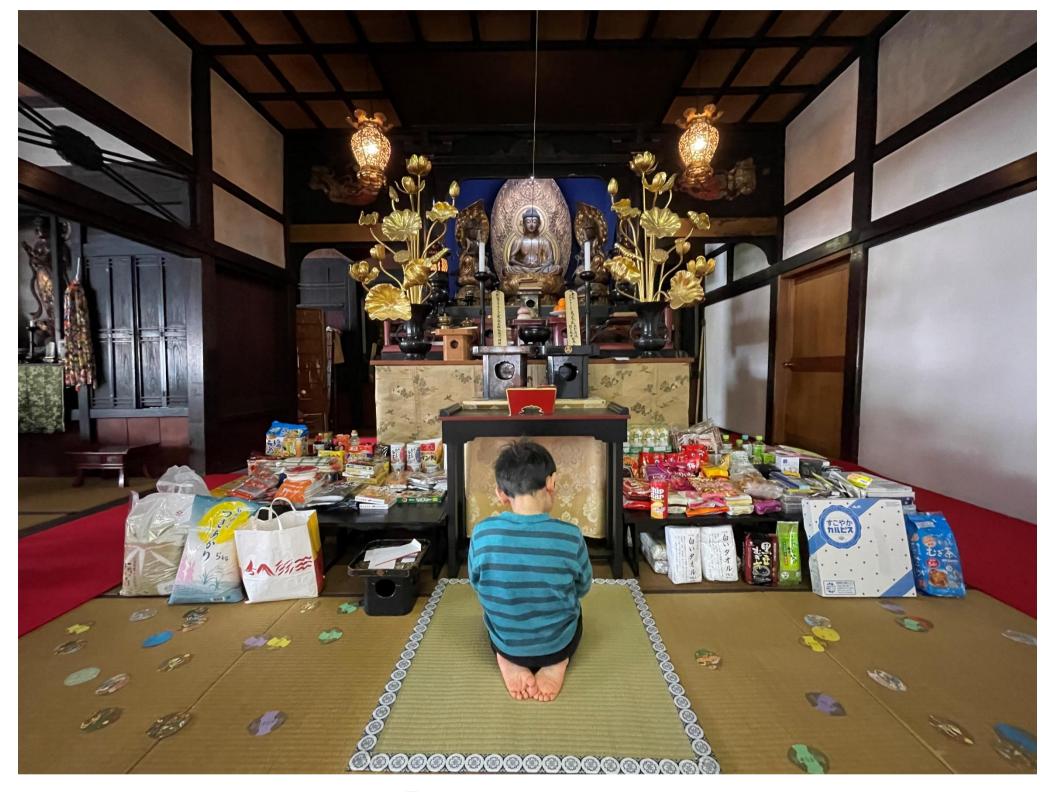


~乳類院だより~

第十号



弘願院寺報『安養』をご覧のみなさまへ

新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るう中、心が休まらない日々をお過ごしのことと拝察いたします。見えないウイルスの存在、終わりの見えない日々がこんなにも辛いものかと日々実感するばかりです。

雪の多かった冬はいつの間にか終わり、綺麗な花々が咲き誇る春が過ぎ、夏に移ってまいります。季節が移り替わるように今の大変な状況もいつか過ぎ去り、人々が気兼ねなく集える日は必ずやってまいります。その日を迎えるまでに弘願院では法務や様々な行事を通じて仏さまの教えをもとに「心の豊かさ」をお届けしてまいります。もちろん法務を執行するにあたり、様々な点に留意してまいります。今後は遠方の方もお寺や法要の様子が見えるように日々改善してまいります。今のコロナ禍の中であっても、「心の距離はいつも近くにあるお寺」を目指し、日々精進してまいります。

弘願院住職 森岡 達圭

行事の報告① 春季彼岸大法要





春季彼岸大法要(法然上人御忌法要併修)を令和3年3月20日(春分の日)に厳修いたし ました。ここ弘願院では5年ぶりの開筵となりました。当日は檀信徒の方をはじめ、近隣のお寺の 奥様方やご家族の方もお参りに来られ、僧俗一体となってお念仏をとなえました。

檀信徒の方の中には、この日初めて弘願院の年中行事に参詣された方もおられました。後から 感想を聞きますと、「お寺の空間はやっぱり落ち着く♪」とおはなしくださいました。

仏さまを前に、お寺の荘厳や香り、まさに五感で感じる実際のお参りは格別なものがありますね。

ほっこりするおはなし~お地蔵さまの前掛け~







お地蔵さまの 前掛け奉纳は ここを チェック!!



檀信徒の小生江美子様(横浜市)から、手作りのお地蔵さまの前掛けを奉納いただきました。 遠方からでも弘願院のお地蔵さまを想っていただけたことが何よりも有難く思います。

お彼岸に合わせて古いものと交換いたしました。弘願院のお地蔵様が一気に明るくなり、お地蔵さ まも嬉しそうでした。この前掛けには一日も早くコロナが終息するように以下のお経を書かせていた だきました。「南無地蔵菩薩 仏天衛護 禍変為福 病即消滅 四大軽安」

お参りの際にはお地蔵さまにも御手を合わせてください。

行事の報告② 寺宝 刺繍仏涅槃図の公開





弘願院の寺宝である絹本地刺繍仏涅槃図の一般公開を行いました。石川県内では弘願院にしかない貴重な涅槃図を浄土宗の御詠歌をもとに絵解きをさせていただきました。

「**拝観料は食品」**として、参詣の方にも弘願院で取り組んでいるフードドライブ(食品を募る活動)に協力していただく形をとりました。

I 日限定8人までというように新型コロナ対策を講じての公開でしたが、

公開期間 2 週間で参詣者は合計 79 名!! 集まった食品 | 20 点以上!!!!

集まった食品は石川県内の子ども食堂や児童養護施設、ひとり親家庭を支援する団体へ順次 お届けしております。

多くの方に涅槃図を通じて仏さまの教えをお取次ぎさせていただく機会を頂戴できたこと、参詣の方が弘願院の活動に賛同いただくと同時に多くのおそなえを持ち込んでいただけたこと、誠に有り難い2週間でした。

今後も食品ロスの問題や食に対する感謝の気持ちを考える機会や、地域の課題に取り組むきっかけに繋がるように様々な形で弘願院が発信してまいります。





弘願院の取り組みが 各地で紹介されています

「年間600万少」

これが何の数字であるかご存知ですか?この数字は我が国、これが何の数字であるかご存知ですか?この数字は我が国、これが何の数字であるかご存知ですか?この数字は我が国、

「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」

通じて有縁の方々に発信してまいります。 の大切にしている「もったいない」という精神を弘願院の活動をら大切にしている「もったいない」という精神を弘願院の活動をのいます。フードの問題を通じて「食」に対する感謝の気持ちや日本人が昔から大切には国連が提唱している図年までに達成すべき目標である「SDGs(持続可能な開発目標)」に取り組んでいます。フードの大切には国連が提唱している図年までに達成すべき目標であ

いう意味です。まさに仏教の根本思想である「利他」の精神でありすべての「いのち」の繋がりを大切に、ともに助け合い、支え合うと浄土宗には、「共生(ともいき)」という理念があります。今ある

心の寄り添い かけこみ寺

〜あなたの想いに寄り添うことはできませんか?〜

「心のよりそいかけこみ寺」を始めました。

しまう。」というようなお話を沢山伺いました。「人とお話をする機会が少なくなり、なんだかもどかしい日が地域の方や檀信徒の方とのお話の中で、コロナ禍によって、

想いに寄り添うことはできませんか?特別な能力や知識も持ち合わせていない私ですが、あなたの

一人で抱え込まず、嬉しい気持ちは共有しましょう。

つらい気持ちは共感しましょう。

受いている。 。後事ばつしず。 この取り組みを始めたきっかけは地元の同級生との悲しい

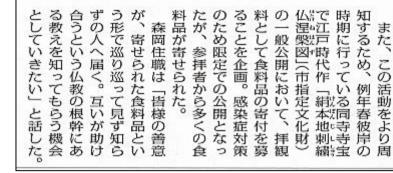
まぎれる、心の声を外に吐き出す場所として、ご利用いただけせん。些細な事でも結構です。住職におはなしすることで気がまぎれる、心の声を外に吐き出す場所として、ご利用いただけましたら辛いです。

ご確認ください。 詳細は QR コードから









浄土宗新聞 2021年5月号

(宗派の専門誌)

の信頼関係が大切。DSN

檀信徒・近隣住民らから集まった 食料品。森岡達圭住職(中央)

定期的に各団体

ズな連携には、

普段から

馬目師は「災害時のスム

と顔を合わせて情報を共有

し、多様化する災害に備え

関する研修会の開催を計画

関心を高めてほしいとの思組み、人々に食品ロスへの

続可能な開発目標)に取り寺院を拠点にSDGS(持

(森岡達圭住職)では、石川県金沢市にある弘願

布を行っている。浄土宗で

と読むことにちなんで、森は「共生」を「ともいき」

院ともいきフードドライ

ブ」と名付けた。

食料品を生活困窮者へ

弘願院ともいきフ

ドドライブ」

石川

弘願院

ども食堂や県母子寡婦福祉

世帯などにも配っている。

ひとり親

寄付を募り、各方面への配

近隣住民からも米や菓子な

これまで檀信徒を中心に

どが寄せられ、同市内の子





文化時報 2021 年 5 月 6 日 (全国各地の寺院の情報誌)



こちらはスマートフォンからも ご覧になれます。

← 浄土宗新聞 web 版 北陸中日新聞 web 版→



●●弘願院 数珠つなぎプロジェクトのご報告●●

檀信徒の方を始め、参詣者の方や遠方からも多くの食品や 日用品が弘願院に「おそなえ」として集まっております。

この場をお借りして御礼申し上げます。

受け付けております。フードドライブの詳細は

「おそなえ」として集まった食品は今回ご縁のあった下記の 団体様へ「おさがり」として「おすそわけ」という形でお届けする ことが叶いました。下記の団体様から食品等を必要としている 方々へお渡しいただけます。食品や日用品を通じて人と人との 「心のつながり」を数珠のように繋げる役目を弘願院が果た したいと思います。弘願院では随時食品等を

お届けさせていただきます。

弘願院 数珠つなぎプロジェクト **弘願院ともいきフードドライブからの** おすそわけ 弘願院の仏さまの前に届いた「おそなえ」を「おさがり」 として、ご縁ある方へ「おすそわけ」いたします。 支援を必要としているご家庭や団体の皆さまの元に、 お供えしていただいた多くの方の「思いやりの心」と共に 浄土宗 弘願院(ぐがんいん)

住職 森岡 達圭

〒 921-8031 金沢市野町 1-3-87 TEL 076-243-8024



QR コードからご覧ください。

弘願院の檀信徒の方々 参詣者や写経納経等の有縁の方々 食品等を「おそなえ」いただいた方々

弘願院

おおくわ こども食堂 様 (金沢市)

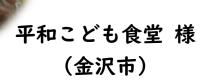


石川県母子寡婦福祉連合 様 (金沢市) 5



柳橋こども食堂 様 (石川県羽咋市)





大切なこと 五十音シリーズ えがお

純粋無垢な子どもから大人まで、様々な「笑顔」に出会うと、こちらの気持ちも和らぎ、この私も 笑顔にさせていただけますね。

ぶっせつ む りょうじゅきょう 『仏説無量寿経』というお経の中に次のような一説があります。

「和顔愛語 先意承問」

(相手の身になって穏やかな笑顔と、温かい言葉をかけること。

そして相手の心を察して考え、先んじて動くこと。)

言葉には自分の心の状態が表れます。温かい言葉をもらうと、 自分の心も温かくなります。「言葉」とは単に声や文字だけでなく、 「言い方・言葉遣い」という意味もあります。心が落ち着いて 穏やかであれば、自然と優しい言葉や口調で話せますが、 怒りやイライラに支配されている時は自分の言葉にトゲが生えて



しまいます。この私自身も周囲から多くの言葉をいただく身であります。言葉を発する前に、 その言葉を受け取る相手のことを思いやることが大切ではないでしょうか。

私たちが心がける態度として、特別な知識や能力がなくとも相手のために行動が出来る むざい しちせ 「無財の七施」というものがあります。その中に、「和顔悦色施」といい、和やかに穏やかな表情で 人と接することが大切ですよと説かれています。これらはまさに、「和顔愛語」の精神です。

「目は口ほどに物を言う」ということわざがあります。最近はマスクを付けて生活するのが当たり 前になりつつありますね。マスクで口元が覆われていますが、相手はこちらの目をよく見ておりま す。口は隠れていても、相手のことを思いやる、優しい「まなざし」が大切でありましょう。

ほんの少しの意識や心掛けで相手の受け取り方がガラッと変わってしまいます。それを私の方 から先に行動を起こしてみましょう。一人一人の小さな行いが、周りの幸せのためになり、その行い を通じて自分自身も心が豊かになります。身近なことから相手のことを思って一歩踏み出してみま しょう。

弘願院公式 LINE を開設しました

このたび弘願院は LINE 公式アカウントを開設いたしました。(iPad を使用) お友達に追加していただきますとお寺との連絡や法務についてのご相談をはじめ、 各種お申込みも LINE を使用しながら調整が可能となります。

ID 検索「guganin I 645」からも追加可能です。

弘願院年中行事のご案内

施餓鬼法要

時 令和3年6月26日(土) 14時~16時(法要と法話)

所 弘願院 本堂

容 14 時 法要 開始

15 時 法話 開始(住職の森岡達圭が務めます。終了時刻は16 時ごろ)

法話「煩悩と言う名の鬼退治(対治)~心の中の鬼と向き合う~」

- ※新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら勤めます。
- ※弘願院の法要は檀信徒以外の方でも気兼ねなくお参りいただけます。法話のみの参加も 構いません。また、檀信徒以外の方でも有縁の方のご供養も受け付けています。(詳細は要問合せ)
- ※檀信徒以外の方で当日参詣を予定される方は準備の都合もありますので、1 週間前までに 弘願院へお問合せください。

施餓鬼とは

その字のとおり、「餓鬼」に対して施しを行う法要です。「餓鬼」とは、物惜しみや嫉妬などの 行いの報いとして飲むことも食べることも自由にならない餓えに苦しむ世界に堕ちてしまった 衆生(生命)のことです。苦しみにあえぐ餓鬼たちに食べ物や飲み物を施し、その苦しみから 離れ、浄土に往生することを願ってお念仏をたむけるのであります。

また、法要でおとなえしたお経や、お念仏の功徳をご先祖や今は亡き方に振り向けます。



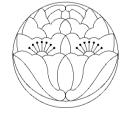
餓鬼のすがた



れた、「持続可能な 開発目標(SDGs)」を 支援しています。 金沢市とも SDGs を 取り組むにあたり、 パートナーシップを結 んでいます。

弘願院は国連採択さ

~心の距離が近い浄土宗のお寺~



ぐがんいん



弘願院

〒921-8031 石川県金沢市野町 1-3-87

Tel: (076) 243-8024 Fax: (076) 243-5165

mail: guganin.jodo@gmail.com











Amazon ほしい物リスト

金沢市 弘願院



「安養~弘願院だより~」 第10号

発行年月日 2021年5月17日 発 行 者 安養山 弘願院

住 職 森岡 達圭



Instagram

公式 LINE